

第3回学校教育部会 開催要項

日時：令和7年1月21日（火）

午後3時00分～

場所：下伊場野小学校

<次

第>

1 開 会

2 開会の挨拶

3 協議事項

(1)教育課程の編成に向けて（校長会より）・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料1

(2)主な学校行事について・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料2

(3)学校備品の整理と移動・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料3

(4)総合的な学習の時間・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料4

(5)学校徴収金・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料5

(6)交流学习・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料6

(7)図書室（図書）と保健関係・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料7

4 その他

5 閉会

R6 松山地域学校教育部会名簿

【各学校の先生方】

No.	学校名	職 名	氏 名	備 考
1	松山小学校	教 諭	高成 俊也	
2		教 諭	遠藤 寛樹	
3		主幹兼事務長	阿部 紀子	
4	下伊場野小学校	教 諭	早坂 貴史	
5		教 諭	高橋 慶吾	
6		主 事	千葉 理紗	

【事務局】

No.	教育委員会	職 名	氏 名	備 考
1	教育総務課 学校教育環境 整備推進室	室 長	平地 久悦	
2		室長補佐	菊池 勝行	
3		主幹兼係長	鈴木 健	
4		主 事	加藤 拓也	
5		学校教育専門指導員	玉水 透	

(1) 学校教育目標／目指す…／学校経営方針 等

<(仮) 学校教育目標>

「共に学び合い 志をもって未来を拓く 心豊かでたくましい子供」

<(仮) 目指す児童像>

- 【ま】 真面目に頑張る子
- 【つ】 強く優しい子
- 【や】 やり抜く子
- 【ま】 真心こめた挨拶ができる子

<(仮) 目指す教師像>

- 【ま】 真っ正面から子供と向き合う教職員
- 【つ】 創り出し、共に働き甲斐のある職場づくりを目指す教職員
- 【や】 やりがいを持ち、心身ともに健康で明朗・快活な教職員
- 【ま】 学びあい、互いに高める教職員

<(仮) 目指す学校像>

- ・ 安全・安心な学校【安全・安心】（居心地がよく子供の命が最優先）
- ・ 保護者・地域から信頼される学校【信頼】（積極的な情報の発信と交換）
- ・ 地域と共につくる学校【協働】（特色ある教育活動の充実）

<(仮) 学校経営方針>

- ・ 「凡事徹底」～当たり前が当たり前でできる子供を育てます～
- ・ 「最高の楽校」～誰もが居心地の良い学びがいのある楽しい学校づくりに
努めます～

(2) 主な学校行事について

- 閉校式：松山小 ― 実施しない
- 下伊場野小 ― 令和8年2月14日（土）
- 統合式：4月半ば以降から5月の中旬位
- 入学セレモニー：着任式（教職員紹介）の中で校長先生からお話をいただく
- 始業式：児童代表の言葉、式辞、担任発表
- 入学式：始業式とは別日に設定、参加は1年生（入学児童）のみ
- 修学旅行：①10月第1週 ②対象学年は6年生 ③福島（会津）方面
- 宿泊学習：①（予）6月24日～25日 ②対象学年は5年生 ③松島方面
- 運動会：①5月第4土曜日 ②午前中のみ
- 学習発表会：①日程：10月23日（金） ②授業の一環、あくまで学習発表会
- 卒業式：参加は、5年生のみ
- 教育相談：＜次年度以降に学校教育部会で検討＞

＜週時程＞

- 現状の共通理解
- 設定（考え方）の共通理解
 - ・45分 or 40分（単位時間） 「この機会を捉えて」と考えてますが…
 - ・「40分／単位時間」とした場合、39週分の計画が必要になる

＜時間割（コマ数）＞

- 現状の共通理解
- 「28／週を超えない」とも言われていますが…

（週時程と時間割については、次年度の学校教育部会で検討していきます）

(3) 学校備品の整理と移動について

大前提として、「使用しない（と思われる）、劣化している」ものはすべて廃棄

①移動させる物品

- ・「極力少なく」 ・ベースは「松山小学校」で
- 2校の教務主任で日程を調整し、「調査・確認」を行う

②廃棄を考える（必要のある）物品

- ・計画的に各学校で廃棄をお願いします。

③購入年度が比較的新しく、来年度まで使用するが、移動の必要はなく使用に耐え得る物品

- ・下伊場野小学校の閉校後に、市内の小中学校に「譲渡会」の案内をします。
学校間同士でのやり取りは謹んで下さい。
- ・松山小学校で不要になる備品等で、使用可能と思われる備品については
「松山小学校→下伊場野小学校」への移動もあり得ます。

④「備品台帳」と「移動物品」について

学校には、「備品と思われるが、備品台帳に登録されていない」ものが多数（？）あります。

- ・「備品台帳に登録されていないものは、登録しない」
- ・「備品台帳に記載のあるもので、移動の対象になっているものは、そのまま台帳に残す」
(備品台帳に残したままで学校を閉めてください)
- ・移動の対象になっていない物品で、備品台帳に記載のあるものは、全て「処分申請」してください。
- ・4月1日以降に、財政課が2つの学校の台帳を合わせます。

＊「備品台帳に登録されていないもの」で、移動の対象になっているものは、「移動物品リスト」を作成する。

⑤保健室の備品移動について

- ・保健室の備品移動はなし（掃除機と加湿器は今後検討→「なし」の方向で）
- ・保健室の「衝立」は一般備品として移動
- ・「本（保健資料）」「消耗品」等の移動は、リストを作成

(4) 総合的な学習の時間について

- ・サケの放流：5年生で実施 但し，教科で充当

＜理科「メダカ」（4h程度）と社会「水産業」（4h程度）での扱い＞

- ・カヌー体験：~~2~~ 4年生で実施 ~~（難しいようなら5年生で）~~

＊レンタル（台数等）／講師料等について「水辺の楽校」と相談

【（新生）松山小学校での取組】

＜3年生＞ ・福祉 ・プログラミング

＜4年生＞ ・地域の防災 ・伝統芸能（躍） ・プログラミング

＜5年生＞ ・農業体験（田んぼ） ・伝統芸能（躍） ・園児との交流
・プログラミング

＜6年生＞ ・「地域のよさを知ろう」 ・伝統芸能（躍） ・太鼓
・プログラミング

＊「太鼓」は、太鼓の数にもよるが、前の学年（4or5年）での取組ではどうか？
学校教育部会で検討を

＊「太鼓の実施は、現実的ではないのでは？」

＜伝統芸能について＞

- ・松山小：獅子躍 「映像」として保存 総合で取り組む
- ・下伊場野小：太鼓 「太鼓」については，中学生を講師として招聘も

(5) 学校徴収金について

＜現状把握とR8年度に向けて＞

- ・令和8年度の徴収金額が大きく異なることのないように調整する
- ・現状（令和6年度）は、金額に大きな差がない
- ・令和8年度に向けて、改めて「減額」の方向で検討していく

項目 \ 学校	R6 松山小学校	R6 下伊場野小学校	R7 及び統合校(目標)
1 学級費 (R6 年実績)	1 年 : 1,600 2 年 : 1,600 3 年 : 1,400 4 年 : 1,400 5 年 : 1,400 6 年 : 1,700	1 年 : 0 2 年 : 0 3 年 : 1,000 4 年 : 1,000 5 年 : 1,000 6 年 : 1,000	1 年 : 1,200 ～ 1,500 2 年 : 1,200 ～ 1,500 3 年 : 1,000 ～ 1,300 4 年 : 1,000 ～ 1,300 5 年 : 1,000 ～ 1,300 6 年 : 1,000 ～ 1,600
2 教材費 (R6 年実績)	1 年 : 9,482 2 年 : 8,682 3 年 : 11,457 4 年 : 11,432 5 年 : 13,607 6 年 : 13,082	1 年 : 0 2 年 : 0 3 年 : 11,780 4 年 : 11,360 5 年 : 14,080 6 年 : 14,290	1 年 : 9,000 ～ 10,000 2 年 : 8,000 ～ 9,000 3 年 : 11,000 ～ 12,000 4 年 : 11,000 ～ 12,000 5 年 : 13,000 ～ 14,000 6 年 : 13,000 ～ 14,000
3 児童会費	150	(なし)	150
4 PTA 会費	2,000 互助会・スポ振は別に集めている	4,500 互助会・スポ振は別に集めている	2,000 (下伊場野の R7 年度は別に考える)
5 特別支援関係	学級費 2,000 教材費 ひまわり 2 年 7,882 4 年 3,872 5 年 9,067 たんぽぽ 6 年 8,332 コスモス 4 年 5,626 5 年 7,670 6 年 7,255 5,326	学級費 1,000 教材費 4 年 4,310 5 年 5,370	学級費 1,300 ～ 1,700 教材費 3 年 5,000 ～ 6,000 5 年 4,000 ～ 5,000 6 年 6,000 ～ 7,000 (障害の種別、個に応じた教材の選定のため、各学年、個々によって金額が変わる。あくまで目安と考える。)
6 (修学旅行, 研修等)	修学旅行 20,022 合宿(志津川) 9,500	合宿(花山) 11,051 修学旅行(保護者納入)	合宿 10,000 前後で 修学旅行(保護者納入) 金額 ～ 22,690
7 (卒業アルバム)	14,000	8,000 ～ 9,000	
* 集金方法	現金 or 口座振替	現金 or 口座振替	現金 or 口座振替

(関連)

＜卒業アルバムの写真について＞

大崎市のサーバー上に「松山統合関係」等のフォルダを置き、そこに2校の子どもたちの写真を保存しておく

＜各校の会計・通帳の処理について＞

- ・基本的には、令和8年2月には、全ての会計（通帳）を〇円・解約
- ・各校の「親睦会」も早めのめを
- ・給与通帳は、令和8年3月31日に解約を（予定ですが、県から指示が出る）

(6) 交流学習について

<令和7年度>

	時 期	対 象	時 間	内 容
1	時期未定	全学年	終日	2～3日程度、松山小学校に通学し、学習と生活を共にする
2	6月上旬	3・4年・特	2～4校時	校外学習（鹿島台デリシャスファーム）
3	6月下旬	3・4年・特	2～4校時	校外学習（大崎市役所）
4	9月上旬	3・4年・特	2～4校時	校外学習（鹿島台Aコープ）
5	11月上旬	6年	5・6校時	松山中学校オープンスクール
6	11月中旬	3・4年・特	2～4校時	校外学習（古川消防署志田分署）
7	1月下旬	3・4年・特	2～4校時	校外学習（美里町郷土資料館）
8	1月下旬	5年	2～4校時	校外学習（トヨタ自動車東日本）

○令和7年度 1 の交流について>

①検討するのは、4・5・6年生

②時間割を共通にする

③国語、算数のドリルを合わせる（担任の意向も尊重する必要あり）

④図工・理科・家庭も共通した教材を使うことを検討

・時期：6月中旬 羽黒祭の後 プール開き後も検討

・対応：クラスルームを開設し、クラスルーム上で情報共有を図り、実施に向けて準備する

*実施については、「教職員の負担をあまり大きくしない方向」で検討を。

*「下伊場野小のプールを開設しない」にすると、交流学習で「プールの授業」も考えられるのではないかな？

→下伊場野小学校は次年度はプールを開設しない方向で考える

(7) 図書室（図書）と保健関係について

◎図書館（図書）について

(1) 学校教育部会のワーキング部会として図書館担当教諭との話し合いを持つ（含：図書館支援員）

→ 11月14日（木）15：00～ 松山小学校図書室

(2) 移動本の選定（基準、数）→「必要か？」

(3) 現状把握と標準冊数（あくまで目標です）

図書館図書標準（ ）内はクラス数

現状把握	松山小	9,930	6,520 (9)	(仮) 松山小学校
	下伊場野小	5,288	3,520 (3)	6,040 (8)
		15,218		9,178

原則として、2小学校15,218冊 → 6,040 (-9,178)

松山小 9,930 → 4,530 (-5,400)

下伊場野小 5,288 → 1,510 (-3,778)

(4) 「下伊場野小学校で過去3～5年以内に購入した本で、松山小学校と重複しない本」

「授業及び地理的・歴史的に価値のある本で、下伊場野小学校にしかない本」

を選択し、松山小学校に移動させる。[（松山小で選外の本は、下伊場野小に運ぶことも）](#)

(5) (4)で選択した本を、通常開館したままで、令和8年3月に一般備品の移動と同時に移動

(6) これからの予定（計画）

- ・松山小 : ①School Pro（図書管理システム）と図書登録用PC用意（交渉中）
 - ②①を使い、開館したままで、「統合後、学校に残す本」の登録作業
 - ③「統合後、学校に残す本」のデータ統合（九州JBAに依頼）
 - ④図書バーコードの印刷・貼付（この処理が終わると貸し出しできなくなります）
- ・下伊場野小 : ①School Pro（図書管理システム）で、開館したままで、「統合後、松山学校に移動する本」の登録作業
 - ②「統合後、学校に残す本」のデータ統合（九州JBAに依頼）
 - ③図書バーコードの印刷・貼付（貸し出しはできます）
 - ④ジャンル別に梱包し、松山小に移動

◎保健関係について

①学校教育部会のワーキング部会として養護教諭との話し合いを持つ

- ・「保健調査票」の作成
- ・「保健室関係」の備品移動

②ワーキング部会の開催について

→ 12月5日（木）14：00～ 松山小学校保健室

- ・概要説明

→ 1月9日（木）14：30～ 松山小学校保健室

- ・「保健調査票」の検討 → [ほぼ確定しています](#)